

製品名: リン酸化 Rb (Thr252) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02873**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.21mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 106 kDa; Observed MW: 110 kDa

抗原情報

遺伝子名	RB1
別名	RB1; Retinoblastoma-associated protein; p105-Rb; pRb; Rb; pp110
遺伝子 ID	5925
SwissProt ID	P06400
免疫原	ヒト Rb の Thr252 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

背景

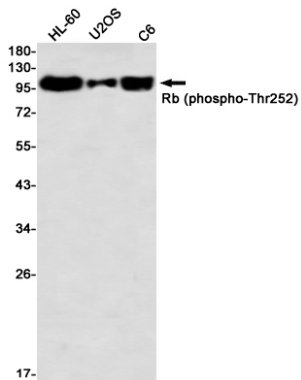
CDKによる細胞周期依存性のリン酸化は、Rb 標的への結合を阻害し、細胞周期の進行を可能にします。Rb の不活性化とそれに続く

細胞周期の進行には、サイクリン D-CDK4/6 による最初のリン酸化と、それに続くサイクリン E-CDK2 によるリン酸化が必要であると考えられます。in vitro では、様々な CDK/サイクリン複合体の特異性が観察されており、in vivo ではサイクリン D1 が Ser780 のリン酸化に必須です。

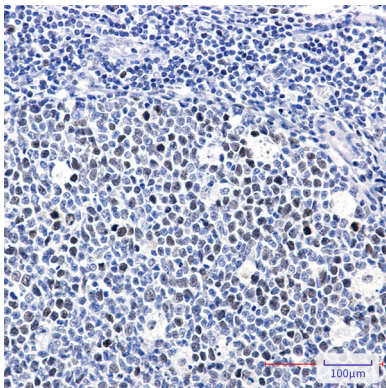
研究分野

細胞生物学

画像データ



リン酸化 Rb (Thr252) 抗体を使用した HL-60、U2OS、C6 溶解物中の Rb (リン酸化 Thr252) のウエスタンブロット分析。



Rb (Phospho-Thr252) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。